



- (1) IT調達を抱える現状の課題と問題点を再確認
- (2) 先手を打つ(プロアクティブな)トラブル対策を実践する各種方法論を習得
- (3) 提案依頼書(RFP)とIT契約書の作成ポイントを学習

## プログラム内容

### 1. 今なぜ調達要求分析なのか

- (1) 高い買物をするときの特徴
- (2) IT調達トラブル事例研究
- (3) 調達要求分析でトラブルを予防する

### 2. 調達リスクマネジメント概論

- (1) 米国の取り組み
- (2) 日本の取り組み
- (3) 情報システムに係る政府調達の基本指針
- (4) 標準ガイドラインにおける調達の流れ

### 3. プロアクティブなトラブル対策

- (1) プロアクティブな対策とは
- (2) 「見積精度」を高める対策
- (3) ファンクションポイント法
- (4) ソフトウェアメトリックスの活用
- (5) 「作業漏れ」を防止する対策
- (6) S L C P 共通フレーム
- (7) ITサービスマネジメントシステム
- (8) 「非機能要件」を明確にする対策
- (9) ソフトウェアの品質モデル
- (10) 非機能要件チェックリスト
- (11) 「要員スキル」を低下させない対策
- (12) 資格制度と認証制度
- (13) 「品質低下」を防止する対策
- (14) V字型開発モデルの上流改革
- (15) 利用者にも分かる品質目標
- (16) 要求仕様書の品質特性

### 4. 要求を的確に伝える提案依頼書

- (1) 提案者に要求を正しく伝える工夫
- (2) RFPに記載する4つの要求
- (3) 提案依頼書の構成
- (4) 第1章 調達の概要
- (5) 第2章 システムの概要
- (6) 第3章 システム要件
- (7) 第4章 開発に関する要件
- (8) 第5章 提案書に関する要件
- (9) 第6章 提案手続きについて
- (10) 3段階選抜方式の考え方
- (11) 1次選抜(事前評価)
- (12) 2次選抜(提案書評価)
- (13) 3次選抜(提案者評価)
- (14) 評価基準の考え方
- (15) 提案者側に予算を伝えるべきか
- (16) 質疑内容は全員に公開すべきか

### 5. 信頼性を向上させるIT契約書

- (1) IT契約が抱える課題
- (2) IT業界の契約形態
- (3) IT契約ガイドライン
- (4) ソフトウェア開発委託基本モデル契約書
- (5) S L A の構成
- (6) サービスレベル基準値

### 6. まとめ

- ・システムトラブルマネジメントシステムの構築

左記プログラムは都合により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

## 講師プロフィール

前橋システムコンサルティング(株) 代表取締役 **前橋 雅夫** (まえはし まさお) 氏

住商情報システム株式会社、セイコーインスツルメンツ株式会社を経て、2000年に前橋システムコンサルティング株式会社を設立。

ITIM(IT投資マネジメント)とSTMS(システムトラブルマネジメント)に関するコンサルティング事業を展開している。